

[好奇心星人の挑戦—森木忠相写真展—]



期間: 2008年3月1日(土)~3月15日(土) 会場: 浄土宗應典院

会期 (会期中は休館なし)

Event (参加自由)

※出演者は都合により変更される場合があります。

3月 1日 13:00~19:00
2日~14日 10:00~19:00
15日 10:00~16:00

3月 1日 14:00~17:00 オープニングイベント [トークショー: 参加費500円] ゴウヤスノリ (ワークショップ・プランナー)
8日 14:00~ 法要
15:30~ 音楽会 小島剛 (電子音楽)・横沢道治 (打楽器)
15日 13:30~15:30 ワークショップ「えんがわ寄席」 飯田紀子 (美術家)×松本力 (絵かき/映像 (アニメーション) 作家)
16:00~ お片付け&打ち上げ

●お問合せ先: campintheair@mac.com ●最新情報はHPにて http://art-cafe.ur-plaza.osaka-cu.ac.jp/main_cocoa.html

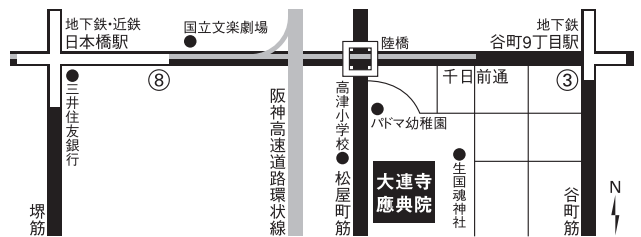
「入院して、儲かった!」—— 今では病院の旗印となった、このキャッチフレーズの生みの親、森木忠相君は享年17歳。12年間の闘病生活中、病院・学校・地域で、ボランティア活動や芸術家との共同制作に精力的に取り組みました。子ども達や保護者に慕われ、そして頼られ、病院中の職員に愛され、多くの学校関係者、研究者、音楽家、美術家、写真家等とも幅広く交流していた忠相君。忠相君の影響力は絶大で、彼からインスピレーションを得た芸術家もたくさんいます。この写真展は、そんな彼の仲間、写真家・佐藤友孝氏とのコラボレーション作品展。本展示会は回顧展ではありません。集う人々の未来をつなぎ、あらたな縁を結ぶために、彼の輝かしくもなつかしい足跡をたどります。

Profile

森木 忠相 (もりき ただすけ) / 1987年生まれ。大阪市立金塚小学校院内学級を経て高槻市立阿武山小学校、高槻市立阿武山中学校、YMCA学院高等学校 (総合学科修了)。2008年1月に成人式を迎えるはずだった。夢は保育士になること。

共同体の協働を志向するアート Community-Collaborative Art

Community-Collaborative Art、略してCoco-A(ココア)。船場アートカフェが提案する、「共同体の協働を志向するアート」という新発想。アーティストが地域、病院、施設などの「場」に形成される共同体の一員となり、アートの作り手と受け手を区別することなく人々と協働して行う創作活動を、こう呼びます。



浄土宗應典院

〒543-0076 大阪府大阪市天王寺区下寺町 1-1-27
Tel: 06-6771-7641
□地下鉄堺筋線・千日前線、近鉄「日本橋」駅⑧番出口より東へ徒歩7分
□地下鉄谷町線・千日前線「谷町9丁目」駅③番出口より西へ徒歩8分

企画: 森木忠相写真展実行委員会 主催: 應典院寺町倶楽部×船場アートカフェ

協力: 大阪市立大学医学部附属病院、大阪市立大学都市研究プラザ

藤田善治 (有限会社北部藤田)、NPO大阪アーツアポリア

直井健士 (デジタルフォトcap@ (キャパット))、島津聖 (矢野紙器株式会社)

林和美 (ナダール)、山下里加 (ハコプロ)、中上哲弘 (中上耳鼻咽喉科医院) (順不同)

ディレクター: 長谷川みづほ ナビゲーター: 山口洋典 (應典院・主幹)×山口悦子 (船場アートカフェ・ディレクター)

